

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師として外傷により損傷を受けるであろう、神経障害、内臓器障害を中心に講義を展開していく。 また、解剖学で習得した神経・内臓の復習も合わせておこなう。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テストで評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版 全国柔道整復学校協会 解剖学 改訂第2版 全国柔道整復学校協会						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業に対して復習をしっかりとっておく事						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学の教科書を熟読しておく事						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	頻脈・発熱・皮下出血斑について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	骨折の全身症状について、脂肪塞栓・クラッシュシンドロームについて				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	頻脈・発熱・皮下出血斑について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	骨折の全身症状について、脂肪塞栓・クラッシュシンドロームについて				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	頻脈・発熱・皮下出血斑について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	骨折の全身症状について、脂肪塞栓・クラッシュシンドロームについて				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器損傷を理解できるようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	脱臼の合併症について、神経・血管損傷・内臓器損傷について				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器損傷を理解できるようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	脱臼の合併症について、神経・血管損傷・内臓器損傷について				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器損傷を理解できるようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	脱臼の合併症について、神経・血管損傷・内臓器損傷について			
第 7 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 8 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 9 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 10 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 11 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 12 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 13 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 14 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			
第 15 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について			

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師として外傷により損傷を受けるであろう、神経障害、内臓器障害を中心に講義を展開していく。 また、解剖学で習得した神経・内臓の復習も合わせておこなう。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テストで評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第6版 全国柔道整復学校協会 解剖学 改訂第2版 全国柔道整復学校協会						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業に対して復習をしっかりとしておく事						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学の教科書を熟読しておく事						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	神経の構造を理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	末梢神経損傷について、機能・構造について				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	頭部・体幹損傷に対する合併症				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	頭部・体幹損傷に対する合併症				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	頭部・体幹損傷に対する合併症				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく	
	各コマに おける 授業予定	頭部・体幹損傷に対する合併症				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 21 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	頭部・体幹損傷に対する合併症			
第 22 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	上肢に対する合併症			
第 23 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	上肢に対する合併症			
第 24 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	上肢に対する合併症			
第 25 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	上肢に対する合併症			
第 26 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	下肢に対する合併症			
第 27 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	下肢に対する合併症			
第 28 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	下肢に対する合併症			
第 29 回	授業を 通じての 到達目標	内臓器・神経の合併症について理解出来るようにする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	下肢に対する合併症			
第 30 回	授業を 通じての 到達目標	まとめをする事で理解度の確認をし、各疾患の合併症(内臓器損傷) についての確認をする		柔道整復理論 改訂第6版 解剖学 改訂第2版	他の教科書、一般臨床医 学の教科書も熟読しておく
	各コマに おける 授業予定	まとめ			